

DFree株式会社 協調的脆弱性開示（CVD）ポリシー

最終更新日: 2026年9月

1. はじめに

DFree株式会社（以下、当社）は、当社製品のセキュリティを最優先事項と考えています。患者様の安全とデータの保護は、私たちの使命の中核です。私たちは、セキュリティ研究者コミュニティとの協力的かつ建設的な関係が、この目標を達成するために不可欠であると信じています。

本ポリシーは、セキュリティ研究者の皆様が、当社製品に関連する潜在的な脆弱性を発見した場合に、それを当社に報告していただくためのプロセスを定めたものです。私たちは、責任ある情報開示にご協力いただける全ての報告に感謝し、真摯に対応することをお約束します。

2. 対象範囲（スコープ）

本ポリシーは、当社が開発・提供する以下の製品及びサービスに適用されます。

- 対象製品：DFree メディカル及びこれに関連するサービス

以下の項目は、本ポリシーの対象外となります。

- 第三者が提供するサービスやアプリケーション（例：App Store, Google Play）
- 当社の事業活動に関連する IT システム（例：コーポレートサイト、マーケティングサイト）
- サービス妨害（DoS/DDoS）攻撃、ソーシャルエンジニアリング、物理的な侵入テスト

3. 脆弱性の報告方法

潜在的な脆弱性を発見された場合は、以下の連絡先まで電子メールでご報告ください。報告内容は、暗号化することを強く推奨します。

- 報告先メールアドレス：security@dfree.co.jp

報告には、私たちが問題を迅速に理解し、再現できるよう、以下の情報を可能な限り含めてください。

- 脆弱性の詳細な説明：脆弱性の種類、影響を受ける製品・バージョン、考えられる影響など
- 再現手順（Proof of Concept）：脆弱性を再現するための具体的なステップ、使用したツール、スクリプト、コードなど
- その他参考情報：スクリーンショット、ログ、ネットワークトラフィックの記録など（ただし、個人情報や患者データは絶対に含めないでください）

4. 当社の対応（お約束）

ご報告いただいた内容に対して、当社は以下の通り対応することをお約束します。

- 迅速な応答：ご報告の受領後、原則として 2 営業日以内に受領した旨を返信し、報告内容の確認を開始します。
- 進捗の共有：脆弱性の調査・修正プロセスにおいて、適宜状況をご連絡します。
- タイムリーな修正：報告された脆弱性の重要度を評価し、リスクに応じて適切な期間内での修正に努めます。
- 安全な公開：脆弱性を修正した後、報告者様と調整の上で、脆弱性情報を公開する場合があります。
- 謝辞：ご希望に応じて、脆弱性情報の公開時に、発見者としてお名前を掲載させていただきます。

5. 報告者様へのお願い（セーフハーバー）

私たちは、セキュリティ研究活動が、製品の安全性向上に不可欠であると認識しています。本ポリシー及び適用法規を遵守し、誠意ある調査・報告を行っていただく限りにおいて、当社は法的措置を講じないことをお約束します。

調査にあたっては、以下の点を遵守してください。

- 他者のプライバシーを尊重し、個人情報や患者データにアクセス、保存、公開しないください。
- サービスの可用性に影響を与えるような行為（DoS 攻撃など）は行わないください。
- 発見した脆弱性を利用して、データの改ざん、破壊、または業務の妨害を行わないください。
- 脆弱性の存在を証明するために必要な最小限の調査に留めてください。
- 当社が修正対応を完了する前に、脆弱性の詳細を外部に公開しないください。